

10月度 例会 個人 山行報告書			報告者	大矢	参加メンバー	CL 大矢(単独)
			報告日	10/12		
山域	岩手県の山	山行日	2023.10.03(火)・04(水)			
山名	八甲田山					
山行目的	八甲田山雪中行軍遭難事故の現地検証			コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
集会: 12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

25万分の1地図 酸ヶ湯, 雲谷

10/03(火)
7:00 谷地温泉 曇
7:15 酸ヶ湯温泉 曇 8°C
7:35 発
8:35 樹林帯 晴れ時々曇
9:25 仙人岱 曇 15~20m/s
10:10 縦ノ木会の亀山さんに出会う
10:18 大岳 ガス 4°C 西風15~20m/s
11:00 大岳避難小屋から100m登った地点 20m/s
何かにつかまらないと歩けないので撤退
11:15 大岳避難小屋 曇
11:45 宮様分岐 紅葉が始まっている
12:00 上毛無岱 晴れ 12°C
13:25 酸ヶ湯温泉 晴れ 12°C

10/04(水) 晴れ 微風
8:50 八甲田山ロープウェイ山頂駅
周回ルート・赤倉岳方面に登り地形を把握
11:00 山頂駅からロープウェイで下山

〈山行報告〉
前日は名古屋から新青森に移動してレンタカーを借り、イオンで食料と酒を買い出ししてから、雪中行軍遭難事故資料館に寄る。7月にこの遭難事故の件でNHK青森放送局で放送された本人と言ったら、親切に色々と解説してもらえた。雪中行軍のルート車を連れて日本三秘湯の谷地温泉に泊まる。前々から10/3は冬型気圧配置となって強風が吹くことが分かっていたので、あらかじめ暴風対策は万全にしておいた。防寒着も兼ねてモンベルで何十年ぶりか忘れてたがレインウェアを新調し、雪の可能性も考慮して目出帽と雪山用手袋を持参。車を酸ヶ湯温泉駐車場に移動して出発。平日にもかかわらず登山者が多い。さすがは百名山。空の雲の流れが速い。風速を見積もると予想通り20m/s。樹林帯が切れて沢沿いに登山始めた標高1200m付近から急に風が強くなってきた。仙人岱から大岳への稜線に取りつくと、更に風が強まり、目出帽を丸めて帽子にして被って、手袋装着。大岳の頂上に近づくとますます風が強くなってきた。危険箇所はないが、よろけないように掴めるものは掴んで慎重に登る。上から声がしたので見上げると、何と縦ノ木会の亀山さんだった。日本は狭い。岡崎の人たちと大岳に登った後、あまりの強風のため周回コースを断念して引き返したとのこと。何とか大岳頂上に着いたがガスガスなので、ちょっと休憩して周回ルートを目指す。しかし頂上の向こう側の方が風が強い。大岳避難小屋を通過して、そのまま赤倉岳ピストンに向かおうとしたが益々風が強くなったため、100mぐらい登って撤退。大岳避難小屋からの周回ルートの下りは次第に風が弱まって一安心。途中の上毛無岱のあたりでは紅葉が始まっていて、振り返る八甲田山の眺めは絶景(頂上から降りたら晴れてきた)。4日もロープウェイから田茂范岳周回ルートを歩いた(1時間)。

確認
(リーダー)
大
2023.10.4
矢

作成
(報告者)
大
2023.10.4
矢

〈リーダー所見〉
10/4によく晴れたため目的の一つである八甲田山周辺の地形を把握できた。そして、八甲田山は日本海からの風が直接当たるため、今回のような西高東低の冬型気圧配置になると、かなりの強風が吹くことが実感できた。さらに雪中行軍ルートは高台で平坦になっているため強風の通り道になったのであろう。これも八甲田山雪中行軍遭難事故の大きな要因と思われる。

幸畑陸軍墓地(雪中行軍死者の墓標)



雪中行軍記念碑
(後藤伍長の銅像)



登山口の酸ヶ湯温泉



雪中行軍資料館の展示パネル



強風とガスの大岳頂上



上毛無岱付近の紅葉



上毛無岱から岩木山を望む



上毛無岱からのパノラマ写真



ロープウェイ山頂駅からのパノラマ写真

